



## 1. 資格検定試験の流れ

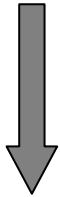
### ● 一次試験の申込み 書類審査申請書の受付

申請書類一式を、郵送にて、公益社団法人日本山岳ガイド協会事務局宛送付することにより受け付けます。郵送でのみ受付をします。**審査日の2週間前までに必着**。簡易書留で送ってください。



### ● 書類審査の実施

平成29年08月21日(月)



書類審査に合格した者は、実技適性試験に進みます。  
書類審査合格者に実技適性試験受験案内を送付します。

### ● 実技適性試験の実施

平成29年10月02日(月)～03日 埼玉

#### 〈試験内容〉

5.11a程度のオンサイトトライおよび5.11c程度のレッドポイントトライを行う。また指導者としての適性能力の試験を行う。

ボルダリング、トップロープクライミング、リードクライミング、ビレイ、ロープワーク等クライミングに対する理解度と安全管理に関する認識。用具の知識。ルールとマナー等について以上をA、B、Cの3段階評価で行う。



実技適性試験合格者に筆記試験受験案内を送付します。

### ● 筆記試験の実施

平成29年11月07日(火) 開催会場： 東京・大阪

〈参考図書〉 事前に購入し熟読して下さい。(日本山岳ガイド協会発行のものはHPより購入できます)

- ・フリークライミングインストラクター指導教本(日本山岳ガイド協会)
- ・山のファーストエイド教本(日本山岳ガイド協会)
- ・自然・登山ガイドの専門的知識教本(日本山岳ガイド協会)
- ・大人の山岳部(東京新聞出版社)



● 筆記試験合格発表（合否通知）

試験日より5日以内に合否通知書を発送します。  
合否通知書が届かない場合には、事務局にご連絡ください。



● 二次試験の申し込み、二次試験および義務講習の実施

実技検定および義務講習科目ごとに申し込みが必要です。  
申し込み締切日を厳守してください。

\* 締切日は各科目ごとに設定されています。「**実技検定試験および義務講習開催要項（インドア・スポーツ・フリークライミングインストラクター資格）**」をよく読みこんで必ず各締切日をご確認ください。

\* 順番通り受けて頂く科目がありますのでご注意ください。

二次試験の開催要項は、筆記試験合格者宛に後日ご案内となります。  
二次試験受験または受講手続終了後、試験または講習開催日の1週間前までに集合案内を送付します。



● 二次試験合格発表（合否通知）、義務講習修了通知

各実技検定試験終了または義務講習修了日より約14日以内に合否通知書を送付します。  
危急時対応技術講習会のみ修了日より約1ヶ月以内に合否通知書を送付します  
合格および修了の、各科目の有効期限は発行日から3年度までです。  
各科目の合格証有効期限が過ぎた方は、その科目の再受験が必要になりますので、予めご注意ください。

\* 順番通り受けて頂く科目がありますのでご注意ください。



● 全科目合格および修了

全ての科目を合格および修了しますと、ガイド資格認定通知書を発行します。  
認定通知書受給者は、当会正会員団体に入会し、正会員団体を通じて当会入会手続きを行います。手続きが完了した方には正会員団体を通して、当会よりガイド資格認定証（本会正会員証）およびガイドバッジを付与します。追加資格としての認定者、資格移行の認定者は、新資格のガイド資格証を付与します。

※自然ガイド資格とクライミングインストラクター資格が独立資格のため、複数の資格保持者はそれぞれの資格を保持することになります。ただしこの場合、それぞれの資格で資格更新をする義務があります。

## ● 受験の流れ

### <インドアクライミングインストラクター>

①書類審査

↓ \* 書類審査合格者は実技適性試験を受験できます。

②実技適性試験（2日）

↓ \* 上記科目の合格者は筆記試験を受験できます。

③筆記試験（1日）

↓ \* 上記科目の合格者はレスキュー技術義務講習を受講できます。

④レスキュー技術義務講習（2日）

↓ \* 上記科目の修了者は人工壁講習・検定を受験できます。

⑤人工壁講習・検定試験（2日）

\* 筆記試験合格者は危急時対応技術講習会を受講できます。

→ 危急時対応技術講習会（2日）

### <スポーツクライミングインストラクター>

①書類審査

↓ \* 書類審査合格者は実技適性試験を受験できます。

②実技適性試験（2日）

↓ \* 上記科目の合格者は筆記試験を受験できます。

③筆記試験（1日）

↓ \* 上記科目の合格者はレスキュー技術義務講習を受講できます。

④レスキュー技術義務講習（2日）

↓ \* 上記科目の修了者は人工壁講習・検定を受験できます。

⑤人工壁講習・検定試験（2日）

↓ \* 上記科目の合格者はクライミング技術と安全管理を受験できます。

⑥クライミング技術と安全管理：講習・検定試験（3日）

↓ \* 上記科目の合格者はセルフレスキュー技術を受験できます

⑦セルフレスキュー技術：講習・検定試験（3日）

\* 筆記試験合格者は危急時対応技術講習会を受講できます。

→ 危急時対応技術講習会（2日）

### <フリークライミングインストラクター>

①書類審査

↓ \* 書類審査合格者は実技適性試験を受験できます。

②実技適性試験（2日）

↓ \* 上記科目の合格者は筆記試験を受験できます。

③筆記試験（1日）

↓ \* 上記科目の合格者はレスキュー技術義務講習を受講できます。

④レスキュー技術義務講習（2日）

↓ \* 上記科目の修了者は人工壁講習・検定を受験できます。

⑤人工壁講習・検定試験（2日）

↓ \* 上記科目の合格者はクライミング技術と安全管理を受験できます。

⑥クライミング技術と安全管理：講習・検定試験（3日）

↓上記科目の合格者はセルフレスキュー技術を受験できます。

⑦セルフレスキュー技術：講習・検定試験（3日）

↓\*上記科目の合格者はマルチピッチとワークレスキュー技術を受験できます

⑧マルチピッチクライミングとワークレスキュー技術：講習・検定試験（3日）

\*筆記試験合格者は危急時対応技術講習会を受講できます。

→危急時対応技術講習会（2日）

※新規受験希望者は「FCIインストラクター資格フローチャート（新規取得）」を参照。

山岳ガイド資格者の追加資格としての受験希望者、インドアからのスポーツ、フリー資格への移行受験希望者、スポーツからフリー資格への移行受験希望者は「FCIインストラクター資格フローチャート（追加・移行）」を参照。

## 2. 受験資格

＜インドアクライミングインストラクター＞

・満20歳以上で健康で体力があり、本会の定めるクライミング経験・技術水準を満たしクライミング経験年数3年以上の者。

・技術水準：

人工壁にて下記の経験

5.11c以上のレッドポイント30本以上、および5.11a以上のオンサイト20本以上。

＜スポーツクライミングインストラクター＞

・満20歳以上で健康で体力があり、本会の定めるクライミング経験・技術水準を満たしクライミング経験年数3年以上の者。

・技術水準：

人工壁で下記の経験

5.11c以上のレッドポイント30本以上、および5.11a以上のオンサイト20本以上。

岩場で下記の経験

スポーツルートで5.11c以上のレッドポイント30本以上、および5.11a以上のオンサイト20本以上。

トラッドルートで5.11aの完登5本以上。

＜フリークライミングインストラクター＞

・満20歳以上で健康で体力があり、本会の定めるクライミング経験・技術水準を満たしクライミング経験年数5年以上の者。

・技術水準：

人工壁で下記の経験

5.12a以上のレッドポイント30本以上、および5.11c以上のオンサイト20本以上。

岩場で下記の経験

スポーツルートで5.12a以上のレッドポイント30本以上、および5.11c以上のオンサイト20本以上。

トラッドルート5.10c以上の完登10本以上の経験。

下記各5本以上（全体の5割以上はリードしていること。5.9以上を3ピッチ以上含むこと。ソロは除く）

・5ピッチ以上のスポーツマルチルート、5ピッチ以上のトラッドマルチルート。

### 3. 検定項目、実施日、開催地、検定料など

#### ●一次試験

職能職種	検定項目	実施日	日数	開催地	検定料
インドア スポーツ フリー	書類審査	29.08.21(月)			5,000
インドア スポーツ フリー	実技適性試験	29.10.02(月)～03日(火)	2日	埼玉	40,000
インドア スポーツ フリー	筆記試験	29.11.07(火)	1日	東京・大阪	15,000

#### 【追加資格取得】

山岳ガイドステージⅠ、ステージⅡの資格取得者でスポーツ資格もしくはフリークライミング資格の取得を希望する者は書類審査、実技適性試験、筆記試験すべて受験する必要があります。

#### 【資格移行】

インドア資格からスポーツ資格もしくはフリークライミング資格。スポーツ資格からフリークライミング資格への移行希望者は書類審査を受ける必要があります。

#### ●二次試験

平成29年度実技検定試験および義務講習（※予定※）

職能職種	検定項目	実施日	日数	開催地	検定料
インドア	レスキュー技術義務講習	29.12.18(月)～12.19(火)	2日	神奈川	40,000
	人工壁講習・検定	29.12.20(水)～12.21(木)	2日	神奈川	35,000
	危急時対応技術講習会	① 29.09.04(月)～05(火) ② 29.11.18(土)～19(日) ③ 30.02.20(火)～21(水) ④ 30.03.17(土)～18(日)	2日	① 小諸 ② 東北 ③ 関東 ④ 関西	25,000
スポーツ	レスキュー技術義務講習	29.12.18(月)～12.19(火)	2日	神奈川	40,000
	人工壁講習・検定	29.12.20(水)～12.21(木)	2日	神奈川	35,000
	クライミング技術と安全管理講習・検定	30.02.26(月)～02.28(水)	3日	伊豆	50,000
	セルフレスキュー技術講習・検定	30.04.23(月)～04.25(水)	3日	小川山	50,000

	危急時対応技術講習会	① 29.09.04(月)~05(火) ② 29.11.18(土)~19(日) ③ 30.02.20(火)~21(水) ④ 30.03.17(土)~18(日)	2日	① 小諸 ② 東北 ③ 関東 ④ 関西	25,000
フリー	レスキュー技術義務講習	29.12.18(月)~12.19(火)	2日	神奈川	40,000
	人工壁講習・検定	29.12.20(水)~12.21(木)	2日	神奈川	35,000
	クライミング技術と安全管理講習・検定	30.02.26(月)~02.28(水)	3日	伊豆	50,000
	セルフレスキュー技術講習・検定	30.04.23(月)~04.25(水)	3日	小川山	50,000
	マルチピッチクライミングとワークレスキュー技術講習・検定	30.06.04(月)~06.06(水)	3日	小川山	50,000
	危急時対応技術講習会	① 29.09.04(月)~05(火) ② 29.11.18(土)~19(日) ③ 30.02.20(火)~21(水) ④ 30.03.17(土)~18(日)	2日	① 小諸 ② 東北 ③ 関東 ④ 関西	25,000

#### 【追加資格取得】

山岳ガイドステージⅠ、ステージⅡの資格取得者で、スポーツ資格もしくはフリークライミング資格の取得を希望する者はレスキュー技術義務講習とセルフレスキュー技術講習・検定が免除となります。

既に危急時対応技術講習会もしくはファーストエイド講習会を修了している者は危急時対応技術講習会が免除となります。

#### 【資格移行】

インドア資格からスポーツ資格もしくはフリークライミング資格への移行希望者はレスキュー技術義務講習と人工壁講習・検定が免除となります。

スポーツ資格からフリークライミング資格への移行希望者はレスキュー技術義務講習と人工壁講習・検定およびセルフレスキュー技術講習・検定が免除となります。

既に危急時対応技術講習会もしくはファーストエイド講習会を修了している者は危急時対応技術講習会が免除となります。

※ レスキュー技術義務講習は、過去にこの講習会を修了した者もしくは免除になっている者でも受験中の希望者は受講することができます。

## 4. 申込方法

### 【一 次 試 験】

#### ●書類審査

書類審査申請書類を、公益社団法人日本山岳ガイド協会に簡易書留にてご郵送ください。

受験料をお振込みのうえ、以下の書類を8月7日必着で送付してください。

納入金額： 5,000円

\* 書類審査の提出書類として必要なものは以下です。

#### 【新規受験者】

※インドアクライミング資格・スポーツクライミング資格・フリークライミング資格の新規受験者

- ① 書類審査申請書 : 当会の指定書式を使用してください。
- ② 顔写真 : 2枚 うち1枚は受験申請書に貼付のこと(縦3.5cm×横3cm)。  
半年以内に撮影されたもの。
- ③ 住民票
- ④ クライミング歴報告書 : 当会の指定書式を使用してください。  
受験資格を満たしていることが分かるよう記載してください。  
インストラクター歴、コンペ歴がある場合にはその報告書
- ⑤ 健康診断書 : 当会所定の検査表または同内容を満たす検査表を提出してください。  
当会所定用紙記入は医者に限ります。本人が記入しないでください。  
筆記試験日前1年以内に受診したものを提出してください。  
日付、発行元が明記されていることを確認してください。  
検査内容に不備がありますと、受験の最終審査の際に再提出をお願いする場合があります。
- ⑥ 山岳遭難保険もしくは傷害保険加入証書の写し(クライミングに対応する保険)
- ⑦ 書類審査料振込明細書(写)

#### 【追加資格受験者】

※山岳ガイドステージⅠ、ステージⅡの資格所持者でスポーツクライミング資格・フリークライミング資格の取得を希望する方

- ① 書類審査申請書 : 当会の指定書式を使用してください。
- ② クライミング歴報告書 : 当会の指定書式を使用してください。  
受験資格を満たしていることが分かるよう記載してください。
- ③ 山岳遭難保険もしくは傷害保険加入証書の写し(クライミングに対応する保険)
- ④ 書類審査料振込明細書(写)

#### 【資格移行受験者】

※インドアクライミング資格からスポーツクライミング資格もしくはフリークライミング資格、  
スポーツクライミング資格からフリークライミング資格への資格の移行を希望する方

- ① 資格移行申請書(FCI資格) : 当会の指定書式を使用してください。
- ② クライミング歴報告書 : 当会の指定書式を使用してください。  
受験資格を満たしていることが分かるよう記載してください。
- ③ 山岳遭難保険もしくは傷害保険加入証書の写し(クライミングに対応する保険)
- ④ 書類審査料振込明細書(写)

#### ●実技適性試験

書類審査の可否通知は書類審査日から5日以内に発送します。合格者のみ実技適性試験の受験ができます。

合格者は受験料をお振込みのうえ、実技適性試験受験誓約書を9月11日(月)必着でご郵送ください。入金と誓約書の確認をもって受験申請完了となります。

納入金額： 40,000円

※資格移行受験者は実技適性試験が免除となります

### ●筆記試験

実技試験の可否通知は試験終了日から5日以内に発送します。合格者のみ筆記試験の受験ができます。合格者は10月24日（火）までに受験料をお振込みください。入金の確認をもって受験申請完了となります。受験票は試験の一週間前に、受験番号、受験会場を記して送付します。試験日の5日前までに受験票が届かない場合は、事務局にご連絡ください。

納入金額： 15,000円

※資格移行受験者は筆記試験が免除となります

送金先： 三菱東京UFJ銀行 四谷支店  
普通預金口座1119029  
名義：公益社団法人日本山岳ガイド協会

## 【二次試験】

実技検定試験および義務講習開催要項をお読み頂き、受験申込書類を公益社団法人日本山岳ガイド協会にご郵送ください。

受験料をお振込みのうえ以下の書類を送付してください。

- ① 実技検定試験および義務講習受講申込書 : 当会の指定書式を使用してください。
- ① 実技検定試験および義務講習受講誓約書 : 当会の指定書式を使用してください。  
本人と保証人の署名もしくは捺印が必要です。
- ② 受験料振込明細書（写）  
\*書類に不備があると申込みは受理されません。

## 5. 検定免除科目

### 【追加資格取得】

山岳ガイドステージⅠ、ステージⅡの資格取得者で、スポーツ資格もしくはフリークライミング資格の取得を希望する者はレスキュー技術義務講習とセルフレスキュー技術講習・検定が免除となります。既に危急時対応技術講習会もしくはファーストエイド講習会を修了している者は危急時対応技術講習会が免除となります。

### 【資格移行】

インドア資格からスポーツ資格もしくはフリークライミング資格への移行希望者は以下の科目が免除となります。  
《実技適性試験、筆記試験、レスキュー技術義務講習、人工壁講習・検定》



スポーツ資格からフリークライミング資格への移行希望者は以下の科目が免除となります。

《実技適性試験、筆記試験、レスキュー技術義務講習、人工壁講習・検定、セルフレスキュー技術講習・検定》

既に危急時対応技術講習会もしくはファーストエイド講習会を修了している者は危急時対応技術講習会が免除となります。

## 6. 合格発表

- 書類審査 : 書類審査日から5日以内に可否通知書を発送します。  
実技適性試験 : 実技適性試験日から5日以内に可否通知書を発送します。  
筆記試験 : 試験日から5日以内に可否通知書を発送します。  
二次試験 : 各実技検定試験終了または義務講習修了日より約14日以内に可否通知書を送付します。  
危急時対応技術講習会のみ修了日より約1ヶ月以内に可否通知書を送付します

## 7. 各科目の合格有効年数

書類審査、実技適性試験、筆記試験、講習・検定の合格有効年数は、修了書発行日または合格通知書発行日から3年度までとなります。

## 8. 資格認定

全ての科目を合格および修了しますと、ガイド資格認定通知書を発行します。

認定通知書受給者は、当会正会員団体に入会し、正会員団体を通じて当会入会手続きを行います。手続きが完了した方には正会員団体を通して、当会よりガイド資格認定証（本会正会員証）およびガイドバッジを付与します。

既に当会正会員である場合には、ガイド資格認定通知書を発行し追加資格もしくは新資格の資格認定証を付与します。

※自然ガイド資格とクライミングインストラクター資格が独立資格のため、複数の資格保持者はそれぞれの資格を保持することになります。ただしこの場合、それぞれの資格で資格更新をする義務があります。

例) 登山ガイドⅠ＋自然ガイドⅡ

山岳ガイドⅠ＋自然ガイドⅠ＋インドアクライミングインストラクター

自然ガイドⅠ＋フリークライミングインストラクター等々

### 問い合わせ

〒160-0008 東京都新宿区三栄町18番地 丸藤ビル201号

国際山岳ガイド連盟加盟 公益社団法人日本山岳ガイド協会

Tel: 03-3358-9806 Fax: 03-3358-9780

e-mail: [office@jfmga.com](mailto:office@jfmga.com) URL: <http://www.jfmga.com>